

がっこう ぎょうじ しょうかい  
**学校行事紹介**

青(あお)い海(うみ)を未来(みらい)に残(のこ)すために

鵠南小学校(こうなんしょうがっこう)の取(と)り組(く)み



こうなんしょうがっこう うみ ふん い うみ ちか  
鵠南小学校は海まで5分ぐらいで行ける、とても海に近い  
がっこう まいねん ひょうちやくぶつちょうさ すな ぞうけい  
学校です。だから毎年「漂着物調査」「砂の造形」「クリン  
うみ ぎょうじ とお うみ ふ あ かんきょ  
プルー」という海での行事を通して海と触れ合いながら環境に  
がくしゅう  
ついて学習しているんですって。

## 漂着物調査(ひょうちやくぶつちょうさ)

海岸(かいがん)のごみをグループごとに拾(ひろ)ってごみの種類(しゅるい)と数(かず)を調(しら)べる活動(かつどう)で、2006年(ねん)には海上保安署(かいじょうほあんしょ)から表彰(ひょうしょう)されました。

## 6年生(ねんせい)からのメッセージ

漂着物調査(ひょうちやくぶつちょうさ)をすることで、砂浜(すなはま)にどんなごみがどのくらいあるのかが分(わ)かりました。またごみをなくそうと考(かんが)えるきっかけになりました。海岸(かいがん)のごみで1番(ばん)多(おお)かったのは、たばこの吸(す)い殻(が)らで、2番目(ばんめ)に多(おお)かったのは、プラスチックの破片(はへん)です。ぼくたちがごみを拾(ひろ)っていると注射器(ちゅうしゃき)まで落(お)ちていてみんな驚(おどろ)いていました。ぼくは、注射器(ちゅうしゃき)まで捨(す)てる人(ひと)がいるなんて考(かんが)えられませんでした。

今年(ことし)も漂着物調査(ひょうちやくぶつちょうさ)を3、4年生(ねんせい)がしました。1番(ばん)多(おお)かったたばこのごみは1845個(こ)、プラスチックごみが1658個(こ)でした。3番目(ばんめ)に多(おお)かったふた、キャップは280個(こ)でした。そのほかにも種類(しゅるい)の違(ちが)うごみがたくさん拾(ひろ)われました。

漂着物調査(ひょうちやくぶつちょうさ)をしていると海(うみ)にごみを捨(す)てている人(ひと)が多(おお)いのが残念(ざんねん)です。だから、一人(ひとり)一人(ひとり)がごみを持(も)ち帰(かえ)るようにすれば海(うみ)に住(す)んである生(いき)物(もの)たちが誤(あやま)ってごみを食(た)べてしまうこともなくなるし、きれいな海(うみ)を守(まも)っていくことができると思(おも)います。

海(うみ)は世界(せかい)とつながっています。だから、世界中(せかいじゅう)みんなで海(うみ)にごみを捨(す)てないように気(き)をつけて海(うみ)を守(まも)ってあげたいと思(おも)います。

## 砂(すな)の造形(ぞうけい)

38年前(ねんまえ)の開校当初(かいこうとうしょ)から行(おこな)われていました。開校(かいこう)10周年(しゅうねん)を記念(きねん)して学校行事(がっこうぎょうじ)になってからは毎年(まいとし)5月(がつ)下旬(げじゅん)に開催(かいさい)されています。みんなが楽(たの)しみにしている行事(ぎょうじ)の1つです。

海岸(かいがん)の砂(すな)を使(つか)っているいろいろな物(もの)を作(つく)ります。クラスごとに話(はな)し合(あ)い、決(き)めたテーマに沿(そ)ってクラス全員(ぜんいん)またはグループで役割分担(やくわりぶんたん)しながら作(つく)っていきます。

## 1. ごみ拾(ひろ)い

海岸(かいがん)に出(で)てまず、ごみを拾(ひろ)います。

ま さお そら もと かいがん  
真(ま)っ青(あお)な空(そら)の下(もと)、海(かい)岸(がん)がきれいになるのはうれしね!



## 2. 制作活動(せいさくかつどう)

きれいになった海岸(かいがん)でそれぞれの制作活動(せいさくかつどう)に入(はい)ります。砂(すな)を運(はこ)び、積(つ)み上(あ)げ、形(かたち)を作(つく)っていきます。くずれそうな所(ところ)をくんできた水(みず)で固(かた)めて完成(かんせい)するまでみんな一生懸命(いっしょうけんめい)です。



### 3. 鑑賞(かんしょう)の時間(じかん)

みんなで作(つく)った作品(さくひん)を見(み)て回(まわ)ります。

### 4. 片付(かたづ)け

作(つく)った作品(さくひん)を壊(こわ)して、海岸(かいがん)を元通(もととお)りにします。

ざんねん き  
ちょっと残念な気もするけれど。  
かいがん もと もと  
海岸を元に戻すためだから……

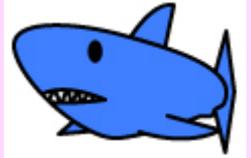


### 5年生(ねんせい)からのメッセージ

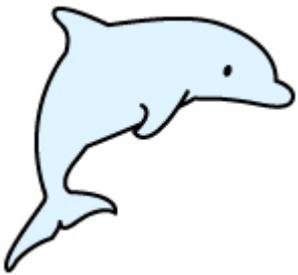
ぼくのクラスでは海(うみ)の生(い)き物(もの)をテーマに4つのグループに分(わ)かれて作(つく)りました。イルカ、サメ、カメ、そしてぼくのグループのタコです。立体的(りったいてき)に作(つく)るのに苦労(くろう)しました。スコップで型抜(かたぬ)きして足(あし)に吸盤(きゅうばん)を付(つ)けたり、おでこにはちまきをさせたりとアイデアを出(だ)し合(あ)って満足(まんぞく)のいくタコができてうれしかったです。



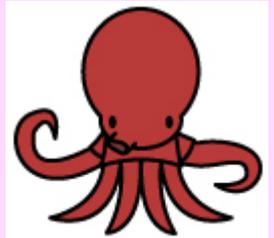
ほかのグループもイルカに乾(かわ)いた砂(すな)を掛(か)けてきれいに仕上(しあ)げたり、動(うご)きが出(で)るようにサメのしっぽを曲(ま)げたり、カメの甲羅(こうら)に模様(もよう)を付(つ)けたりと頑張(がんば)っていました。



作(つく)った後(あと)はほかのクラスや学年(がくねん)の作品(さくひん)の鑑賞(かんしょう)をします。700人以上(にんいじょう)もいる全校児童(ぜんこうじどう)が作(つく)るので海岸(かいがん)が大(おお)きな博物館(はくぶつかん)になったようです。1年生(ねんせい)はかわいらしいものが多(おお)いけれど、高学年(こうがくねん)になると迫力(はくりょく)のある作品(さくひん)が増(ふ)えてきます。6年生(ねんせい)が作(つく)った鎌倉(かまくら)の大仏(だいぶつ)は本物(ほんもの)にそっくりにできていたので印象(いんしょう)に残(のこ)っています。かわいいアンパンマンやおいしそうなケーキもありました。自動車(じどうしゃ)は人(ひと)が乗(の)れるほど大(おお)きくて立派(りっぱ)でした。来年(らいねん)は何(なに)を作(つく)ろうかなと今(いま)から楽(たの)しみです。



鑑賞(かんしょう)の時間(じかん)が終(お)わるとちょっと残念(ざんねん)な気(き)がするけれど海岸(かいがん)を元(もと)に戻(もど)すために作(つく)った作品(さくひん)をみんなで壊(こわ)します。全身砂(ぜんしんすな)まみれになりますが、砂(すな)と触(ふ)れ合(あ)えるととても楽(たの)しい一日(いちにち)です。これからもこの行事(ぎょうじ)を楽(たの)しく続(つづ)けるために海岸(かいがん)をきれいにしていきたいです。



# クリンブルー

平成(へいせい)12年度(ねんど)の児童代表委員会(じどうだいひょういいんかい)で「海岸(かいがん)をきれいにする行事(ぎょうじ)」ということで提案(ていあん)されて始(はじ)まりました。今年(ことし)で8年目(ねんめ)をむかえます。2004年(ねん)には財団法人(ざいだんほうじん)かながわ海岸美化財団(かいがんびかざいだん)から感謝状(かんしゃじょう)が送(おく)られました。

毎年(まいとし)クリンブルーの前(まえ)には、児童代表委員会(じどうだいひょういいんかい)が班(はん)ごとに違(ちが)う学年(がくねん)との触(ふ)れ合(あ)いができるように、また安全確保(あんぜんかくほ)や環境(かんきょう)に配慮(はいりょ)した決(き)まりを話(はな)し合(あ)っています。

当日(とうじつ)は1グループ6~8人(にん)で1年生(ねんせい)と6年生(ねんせい)、2年生(ねんせい)と5年生(ねんせい)、3年生(ねんせい)と4年生(ねんせい)が一緒(いっしょ)になって行(おこな)います。活動場所(かつどうばしょ)は松波交差点(まつなみこうさてん)の地下道(ちかどう)を中心(ちゅうしん)に少(すこ)し、東西(とうざい)に広(ひろ)がった辺(あた)りです。掃除(そうじ)した後(あと)はきれいになった海岸(かいがん)で遊(あそ)びます。



ひろ いがい お ちゅうしゅき お  
ごみを拾ってみると意外なものまで落ちていたんだね。注射器まで落ちていたなん  
ごなんしゅがっこう うみ まも きも まわ ひと つた  
で… 鶴南小学校のみんなの海を守りたいという気持ちが、周りの人へも伝わ  
せかいじゅう ひと うみ たいせつ  
って、世界中の人が海を大切にするようになってほしいね！

## 6年生(ねんせい)からのメッセージ

掃除(そうじ)をしていると、鳥(とり)の死(し)がいに驚(おどろ)かされたり、たばこの吸(す)い殻(がら)や食(た)べ物(もの)の入(い)れ物(もの)、ペットボトルの多(おお)さにびっくりします。ごみを拾(ひろ)った後(あと)に海岸(かいがん)で遊(あそ)ぶと、ごみがないので気持(きも)ちよく遊(あそ)べます。これからは、冬(ふゆ)にもクリンブルーを行(おこな)って暖(あたた)かくなる春(はる)を迎(む)かえ、地元(じもと)の人(ひと)も観光(かんこう)に来(く)る人(ひと)もきれいになった鵜沼(うげぬま)でたくさん遊(あそ)んでもらいたいです。

またきれいな海(うみ)であれば、ごみを捨(す)てる人(ひと)も減(へ)るのではないかと思(おも)います。

さいご ねんせい

## 最後に～6年生からのメッセージ

わたし うち りよう うみ たが たす あ わたし うみ  
私(わたし)たちはこのように、海(うみ)を利用(りよう)、海(うみ)をきれいにし、お互(たが)いに助け合(たす)ってききました。私(わたし)たちは海(うみ)  
いのち いただ  
から命(いのち)を頂(いただ)いて、いろんなことをしてもらっています。だから、これからも青(あお)い海(うみ)を未来(みらい)に残(のこ)すた  
うみ たいせつ  
めに、海(うみ)を大切(たいせつ)にしていきたいです。